

世界史 授業 No.101 テーマQ.&A.プリント

1. 今日のテーマ・クエスチョン

各国の反仏ナショナリズムとはどのようなものか？

2. テーマ・アンサーのキーワードをピックアップ

※教科書該当ページ（P. 159）の中から見つけよう！

封建的圧政からの解放をかかげるナポレオンの征服は、被征服地にフランス革命の考え方を広めて改革をうながしたが、その一方でフランスの支配に反発する（ 1 ）を成長させることになった。まず、（ 2 ）で反乱がおこり、また（ 3 ）では、シュタイン・ハルデンベルクらが農民解放などの改革をおこなった。

1812年、ナポレオンは大軍をひきいて大陸封鎖令を公然と無視する（ 4 ）に遠征したが、大敗におわった。翌13年、これをきっかけに諸国は解放戦争にたちあがり、（ 5 ）の戦いで敗れたナポレオンは1814年に退位してエルバ島に流され、ブルボン朝が復活した。15年3月、ナポレオンはパリにもどって皇帝に復位したが、6月に（ 6 ）の戦いで敗れ、南大西洋のセントヘレナ島に流された。

<記入欄>

1 () 2 () 3 ()
4 () 5 () 6 ()

3. 今日のテーマ・アンサー（テーマ・クエスチョンの答）確認

※今日のノートに取った内容や2.でピックアップしたキーワードを参考にしよう。

T. Q. 「各国の反仏ナショナリズムとはどのようなものか？」

T. A.

ナポレオンの侵略に対し、各国の反仏ナショナリズムが高まった。[①]での粘り強いゲリラ的反乱、プロイセンでの宰相[②]とハルデンベルクによる近代化の成功、ロシアでは[③]を占領されたが焦土作戦などで仏軍を退却させた。ナポレオンを退位に追いやったのは、彼が種を播いたこのような各国の民族意識や国民意識であり、その結実が諸国民戦争（[④]の戦い）であるといえる。

<記入欄>

① [] ② [] ③ []
④ []

[] 年 [] H No. [] 氏名 []